

「聲明 鎮魂の祈り」コンサート関連講座
日本の声をめぐって

受講無料・事前申込制

会場：愛知芸術文化センター12階アールスペースA (〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2)

「聲明—鎮魂の祈り」公演に合わせて、聲明をはじめ日本の様々な声や歌についての講座を行います。
 それぞれ実際にうたってみる体験もあります。

① 雅楽・歌もの
 国風(くにぶり)歌、
 催馬楽(さいばら)、朗詠

日時：2019年1月12日(土) 14:00 (受付は30分前から)

講師：^{ふんの ひであき}**豊英秋** 元宮内庁式部職楽部 首席楽長

日本の雅楽のなかで、(語るのではなく)声楽の範疇に属する音楽を歌もの(歌いもの)と呼びます。外来音楽の影響をうける以前から日本にあった古来の国風歌。各地の民謡や和歌を雅楽風に編曲した催馬楽。漢詩に曲を付けて雅楽風に編曲した朗詠。本講演では、こうした歌ものを紹介し、日本の声の音楽の源泉をたずねます。

② 聲明1・聲明の基礎知識
 四箇法要を中心に

日時：2019年1月27日(日) 14:00 (受付は30分前から)

講師：^{すえ ひろしょうえい}**末廣正栄** 天台聲明・金嶺寺住職
^{しょうじ こうとく}**小路耕徳** 真言聲明・千手院住職
^{たむらひろみ}**田村博巳** 演出家・国立劇場調査養成部長

仏教の経文や真言に節をつけ僧によって唱えられる聲明。円仁以来、その格調の高さは我が国の聲明中最右翼といわれる天台聲明。空海に始まりダイナミックな旋律をもって人々を魅了する真言聲明。本講演では、声による精神の発露で、「歌謡」の源泉である四箇法要(しかほうよう)「唄・散華・梵音・錫杖」を中心に紹介します。

③ 聲明2・新作聲明の軌跡
 《蛙の声明》から《海霧讃歎》まで

日時：2019年2月2日(土) 14:00 (受付は30分前から)

講師：^{すえ ひろしょうえい}**末廣正栄** 天台聲明・金嶺寺住職
^{しょうじ こうとく}**小路耕徳** 真言聲明・千手院住職
^{たむらひろみ}**田村博巳** 演出家・国立劇場調査養成部長

千二百年以上も歌い継がれてきた聲明には、言葉と言葉を結ぶ不思議な抑揚や荒々しさ、音楽の霊力ともいえるべき力があります。本講演では、僧侶の「声の表現力」に刺激を受けた現代の作曲家による新作聲明の軌跡をたどりつつ、代表的な作品を解説します。

④ 和歌を歌う～歌会始

日時：2019年2月23日(土) 14:00 (受付は30分前から)

講師：^{そのいけきんたけ}**園池公毅** 早稲田大学教授
 宮内庁式部職嘱託・披講会理事

宮中の年中行事の一つである歌会始では、一般からの詠進歌から選ばれた歌や皇族方のお歌などが、天皇皇后陛下の御前で披講されます。声に出して読み上げるにより和歌を鑑賞する披講は、千年以上の歴史を持ち、現代の歌会始に受け継がれています。本講演では、そのような和歌の披講の歴史と技法について実演を交えながらご紹介したいと思います。

申込み
 (先着順)

定員各180名

以下の(1)～(4)を明記の上、往復はがき又はメールにてお申込みください。

- (1) 名前(1つのハガキ・メールに、1名ずつでお願いします)
 (2) 参加希望回(複数回まとめて申込み可)
 (3) 連絡電話番号 (4) 郵便番号・住所(返信用はがきのおもてに書いてください)

申込住所 〒461-8525 (住所不要) 愛知県芸術劇場
 声明関連講座係

申込用メールアドレス ws26@aaf.or.jp 件名：声明関連講座

*ご記入いただいた個人情報は愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)にて厳重に管理し、本事業を運営するために使用し、それ以外に使用しません。

公演情報

聲明—鎮魂の祈り 2019年 愛知県芸術劇場コンサートホール
 3月2日(土) (愛知芸術文化センター4F)

◎チケット料金 (全席指定・税込) S 6,000円 (U25 3,000円) A 4,800円 (U25 2,400円) 車椅子席 4,800円

2018年10月20日(土) 10:00 発売開始

*上演時間：約90分、途中休憩なし ※U25は、公演日に25歳以下対象(要証明書、枚数限定)。

*車椅子席および団体割引(10名以上)は劇場事務局(TEL 052-971-5609)にて取扱い。*未就学児入場不可。

主催・お問合せ

愛知県芸術劇場
 CBCテレビ事業部

TEL：052-971-5609 MAIL：ws26@aaf.or.jp

TEL：052-241-8118

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



文化庁